

1. p1011 の左下から 2 行目「throughout」は時間的な意味ですか？ 空間的な意味ですか？
時間的な意味しか含んでいないよ。
2. p1011 の左下から 1 行目「migrates」は、どこ（どちら側）からどこ（どちら側）へ移動しますか？
「泳動槽から」とか書いた人…じゃ行き先は泳動槽の外（笑）？「槽」を「層」と書く人が多い。注意
3. Results の第一段落で、Xdsh は 2 本のバンドになりますが、なぜ 2 本なのですか？
これは説明不要でしょ？
4. p1011 の右 4 行目「ectopically expressed epitope-tagged Xdsh (Xdsh-HA)」とは何ですか？ インターネット等を駆使して使われている用語の意味を突き止めて、推測してください。
「HA タグ」というキーワードでネット検索したら？「HA タグ」は「抗体」ではないよ？
5. p1011 の右 3 行目「immunoprecipitations」とはどんな実験か、(翻訳じゃなく)説明をしてください。
「免疫沈降」というキーワードで調べよう。ちなみにこれは目的のタンパク質「精製する方法」ではないよ。別に目的があるんだ。
6. p1011 の右の第一段落で、Xdsh がリン酸化されていることは、どんな実験でどんな結果が出たことで証明されましたか？
「酸性ホスファターゼで処理したら 80 kDa のバンドが出たこと」だけではちょっと足りない。もっと具体的に書いてほしいなあ。
7. p1011 の右 15 行目「The phosphorylation profile」とはどういうものことですか？
俺が書くより理想的な答えがあったので（無断で～笑）転載します。「発生のそれぞれの段階における・・・リン酸化 Xdsh のバンドが濃い・うすい、太い・細いなどの形のこと」…「profile」には「外形」なんて意味もあったけど、どの程度の割合でリン酸化されているかというニュアンスが重要。
8. p1011 の右の第二段落で、リン酸化された Xdsh の量はどの時期に多くなりますか？
第二段落に限定すれば、16 細胞期から胞胚期にかけてどんどん蓄積すると書いてあるので、(16 細胞期～)胞胚期と答えてくれたら OK です。第三段落には「64～128 細胞期にピークに達する」と書いてあるけれども、この問いにはそれは盛り込まなくて結構です。
9. p1011 の右 23 行目「the developmental changes」とは、何の、どんな「changes」ですか？
Xdsh のリン酸化状態（前の段落で出てきた profile のことだよ）の、発生段階による変化ってことさ。発生段階が進むとリン酸化された Xdsh はどんどん増えて、胞胚期から原腸胚期になるころには再び減少に転じるのでしょうか？そういう経時的な変化のことを言っているのだよ。
10. p1011 の右 24 行目「suggestive (示唆的である, 暗示する)」とは何が、何を暗示するのでしょうか？
「リン酸化 Xdsh が胞胚期に多くなるという変化のしかた」(ちょうど背側の細胞でβカテニンが蓄積し、背腹の細胞が異なる遺伝子を発現し始める時期と Xdsh リン酸化のピークが一致するので)…が「発生初期の背腹の極性決定にリン酸化 Xdsh が (or Xdsh のリン酸化が) 重要な役割を演じる」ことを示唆する…ようにみんなも感じるでしょ？それが「思わせぶり suggestive」だということ。
11. p1011 の右 25～26 行目「cytoplasmic rearrangements」を、両生類の発生学の専門用語を使って英語で言い換えてください。『細胞工学』の資料やインターネットで調べること。『細胞工学』を受講していない人は、藤原のところへ質問に来るか、講義を履修した友だちに教えてもらおう。
cortical rotation
12. p1011 の右の第三段落を読み、64～128 細胞期の Xdsh のリン酸化状態と量や局在の変化を説明してください。
「1.35 倍」とか「2.8 倍」とか書いてあるけど、意味を正確に理解しているかどうかポイント。